

## 第 11 次厚木市総合計画長期ビジョン素案に対する

### 「オープンハウス」実施報告書

目的	第 11 次厚木市総合計画の策定に向け、普段市政に参加する機会が少なかった市民に対してオープンハウスを開催し、長期ビジョン素案に対する市民の意見等を聴取する。
開催日時	令和 7 年 6 月 1 日（日）午前 10 時から午後 3 時まで
開催場所	荻野運動公園体育館
対象	荻野運動公園体育館 来場者 ※スポーツなじみ DAY と同日開催
参加者	19 組 20 名
内容	パネルを用いて職員が説明するとともに、意見記入シートを基に参加者から意見を伺いました。主な御意見は次のとおりです。
<b>【問 1】</b> 次のようなまちを実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。	
1. 誰もが訪れたい、住みたい、住み続けたいと思える魅力にあふれるまち ・豊かな自然に恵まれている強みを生かし、新たな観光地を整備するとともに、SNS 等で効果的に発信することが必要。 ・憩いの時間を過ごせる公園や緑地の充実、環境維持の取組。 ・ジャズナイトや大道芸のような、厚木ならではのイベントを増やす。 ・快適な移動ができるように、交通混雑の解消、市街地の駐車場整備、バスの増便、コミュニティバスの運行等により、交通環境を向上させる。 ・市民がまちづくりに参加する機会を充実させる。 ・駅周辺の客引き行為の取締り又は防止の取組。 ・大人も子どもも皆が笑顔に生活を営めるまちづくり。	

- ・あらゆる世代の女性が意見を発信できる場所や機会をつくる。
- ・近隣市にあるようなショッピングモールやアウトレットなどの大型商業施設を誘致する。

など

## 2. こどもたちが自分らしく成長し、若者が安心して結婚・妊娠・出産・子育てができるまち

- ・こどもが元気で伸び伸びと遊べる公園や、自然と触れ合える緑地等を整備する。
- ・妊娠、出産、子育てに関する相談窓口を整備し、困っているときに相談しやすい環境をつくる。
- ・子育て世代や若年層への経済支援施策を充実させる。
- ・こどもたちを地域で見守る意識の醸成。
- ・子育て関連手続きのオンライン化。
- ・婚活パーティー等の充実、住宅取得支援、地域交流イベントの実施等により、若い世代の結婚、定住の促進を行う。
- ・地域のつながりを深め、転入者も加わりやすい開放的なコミュニティづくり。
- ・こどもたちが対面での遊びやコミュニケーションを通して交流できる場所づくり。
- ・高校生への支援制度の創出。

など

## 3. 多くの企業が立地し、働く場所、働きやすい環境が充実したまち

- ・市内企業に勤める人が通勤しやすいような交通環境の整備。
- ・地域と共存していけるような企業を誘致する。
- ・起業希望者に対する相談窓口や補助制度の拡充等、支援制度を充実させる。
- ・大企業の研究開発部門が多く立地する特性をいかしたまちづくり。
- ・農業、商業及び工業の連携（農商工連携）強化による新たな商品、サービス開発等のビジネスモデルの構築。

など

【問2】その他、本市のまちづくりについて御提案等がございましたら、御記入ください。

- ・ AI や IoT を活用したデジタルインフラの整備による交通渋滞の緩和、防災情報の迅速な提供等の取組を推進すべき。
- ・ 市民が地域との交流を深めるために、生涯学習講座の充実が有効だと思う。
- ・ 厚木は自然が豊かなので、自然をいかした取組を行うと良いと思う。
- ・ 市の魅力を発信するために、映像作品への協力やタイアップ等による PR に力を入れてほしい。
- ・ 高齢者が元気に暮らせるまちづくりを推進すべき。定年退職後の再就職支援等、高齢者が「自立」して生活し、活気あるまちを目指してほしい。
- ・ 市が各種支援等の様々な施策を実施しているが、広く市民に伝わっていないと感じる。発信方法の工夫が必要。
- ・ 交通環境を向上させるべき。特に、本市は公共交通機関が中心市街地から郊外へ放射状に展開されており、郊外間の横移動が困難なので、円滑に移動できる環境整備が必要。
- ・ 近隣の市にはない厚木らしさを押し出した魅力発信が必要。

など

【当日の様子】

